



働きがいのある人間らしい仕事 ディーセントワークを実現します

企業組合労協センター事業団
松戸地域福祉事業所 あじさい



事業内容



社会連帯活動から 仕事おこしへ

紫陽花
サロン

暮らしの
サポーター
養成講座

子ども
食堂

学童保育・学習支援・キッズルーム
業務委託



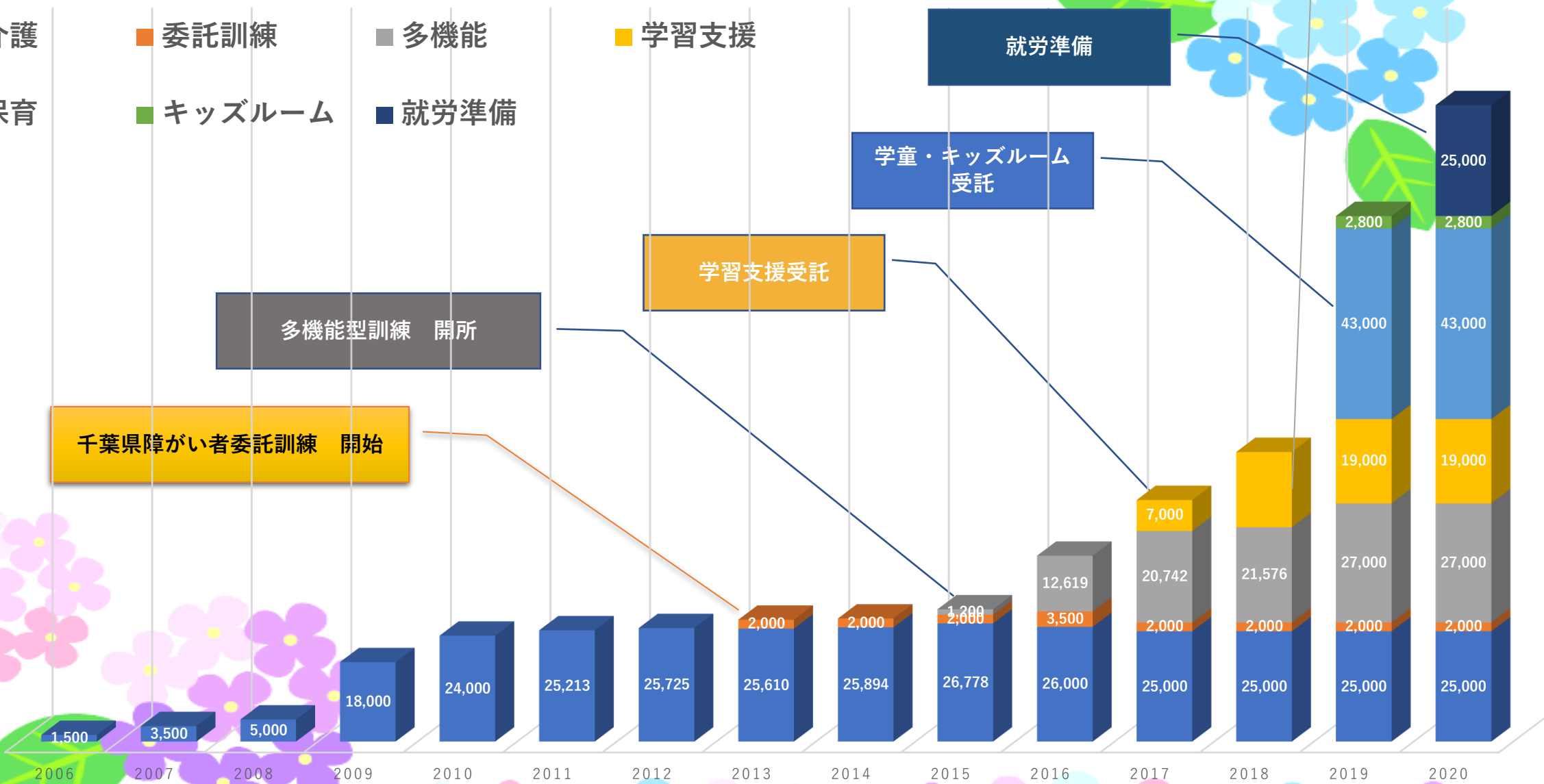
事業収入推移

■ 通所介護
■ 学童保育

■ 委託訓練
■ キッズルーム

■ 多機能
■ 就労準備

■ 学習支援



千葉県障がい者委託訓練 開始

多機能型訓練 開所

学習支援受託

学童・キッズルーム 受託

就労準備

事業所の特徴

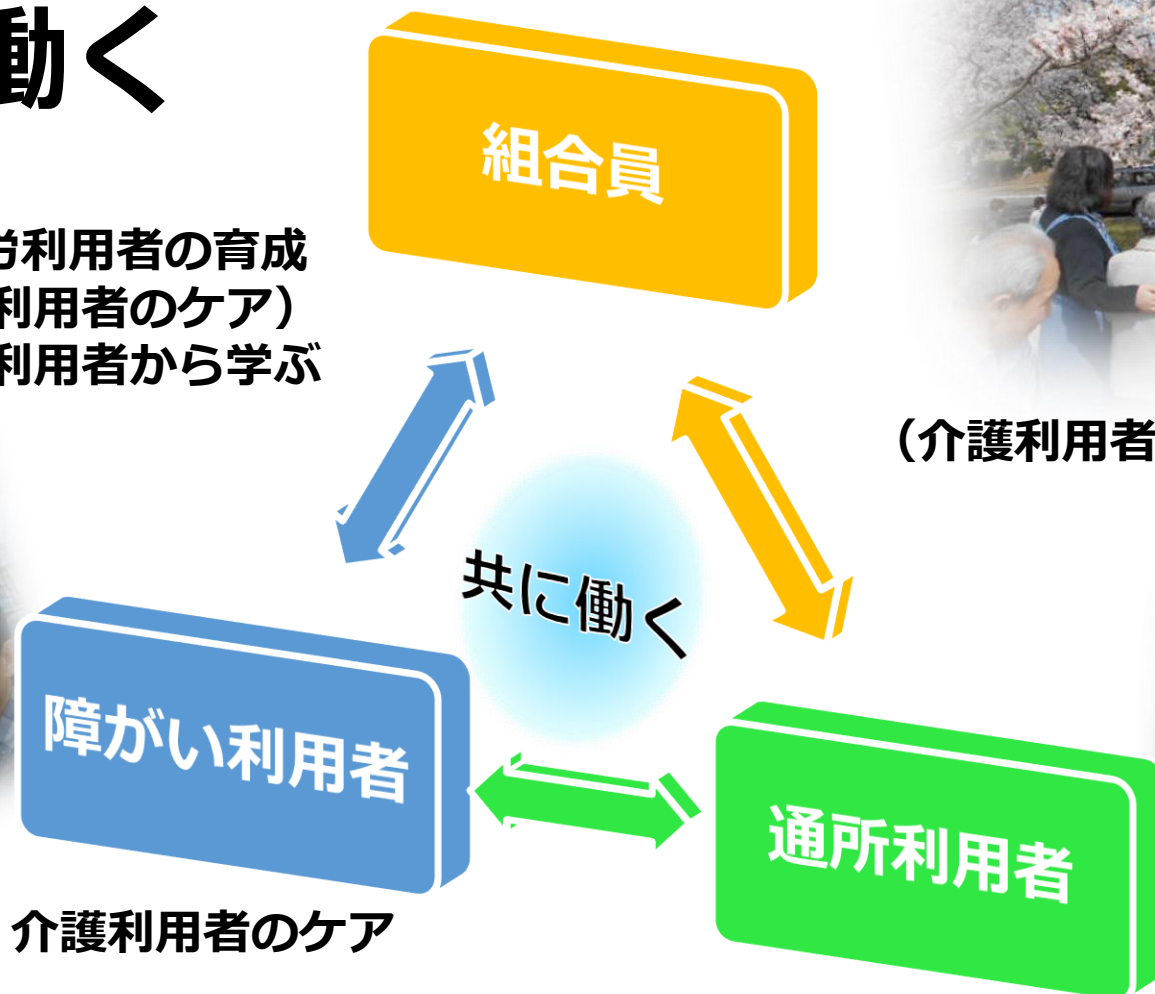
①働くなかま



事業所の特徴

②利用者と働く

- ・ B型就労利用者の育成
(介護利用者のケア)
- ・ 障がい利用者から学ぶ



(介護利用者のケア)



介護利用者のケア



B型就労利用者の育成



事業所の特徴

③オールマイティな働き方





ジャン＝ルイ・バンセル
ICA国際協同組合同盟ヨーロッパ会長



海外視察受け入れ



バル・アイヤー
ICA-AP（国際協同組合同盟アジア太平洋支部 事務局長）



MASS-SPECC協同組合開発センター



韓国医療福祉社会的協同組合連合会

当事者主体の想いを多機能型訓練にて真の当事者主体に

7年前より
週に一度の
ボランティア活動

週に一度
あじさいで
職員として働く

介護職員初任者研修の
資格を取得

あじさい多機能の
利用者として
週に5回
様々な現場で働く
ようになる

いずれB型を卒業して
一般就労まで進められるように一緒に活動していきます



熊本真理子さんのお話

10年間、社会との関わりを避けて生きていた



14歳で統合失調症と診断されて、それから10年間は学校にも行かず就職活動もせず、社会から逃げていた状態でした。

一般常識などは分かるけど、空気を読むことや忖度ができず、誤解されることもありました。

ずっと社会に自分の居場所がないという劣等感やひがみの意識を抱えて、社会と関わりを持たずに生きてきました。

帰りのコーヒー 1 杯が楽しみ



そんな中、あじさいの存在を知って、見学に行ってみました。私は介護の経験も資格もないので、直接身体的な介助は怖くてできないと思いました。

けれど、お話し相手をしたり、掃除やお茶出しをしたり、台所の食器を洗わせていただいたり是可以するかもしれないと思いました。

また、相談しながら次のステップを考えたいと思っていたこともあって、有償ボランティアをはじめることになりました。それまでに働いた経験がなかったので、お金をもらえることがとても嬉しくて、帰りにコーヒー1杯を買って飲むのが楽しみでした。

人の中にいるだけで燃え尽きそう

1年2ヶ月くらいボランティアを続けた後、委託訓練の初任者研修の講座を受講しました。

介護には大変なイメージがあったし、ただ人の中にいるだけでも燃え尽きそうな気がして勇気がありませんでしたが、障がい者のための講座だったので、自分の体調に合わせて学ぶことができ、無事に資格を取得できました。

以降は週1回あじさいで働くことになりました。最初は大変なイメージのあった介護ですが、実際に働いてみると、いろんな仕事があってやりがいのある仕事だと思いました。



女子高生って、こんな感じかな？



介護の他にも、東葛地域福祉事業所で病院の中のリネンの仕事もし始めました。仕事内容は、病棟から汚れた洗濯物を回収して洗ったり消毒したり、清潔な用具類を補充したりする仕事です。

職場には女性がほとんどで、とても和気藹々としていています。その中で何人か友人もできて、一緒にでかけたり、お家にお邪魔したり、時には日曜日に電話がきて、何か仕事で失敗したかなと思ったら、「小豆を煮たので近くの駅まで取りにこないか」と言われるなんてことも。

本当に和気藹々としていて楽しくて、私には経験がないけれど、女子高生ってもしかしたらこんな感じかな？ と思ったりしています。

どんな人でも、どんな仕事でも、よい仕事ができる



私はあじさいで働く中で、どんな人でも、どんな仕事でも、どんな立場でも、一人ひとりがよい仕事を考えることができて楽しいし、どんな仕事であっても、よい仕事ができると感じるようになりました。

東葛地域福祉事業所には子ども食堂の活動もあるのですが、特別な能力がある人だけが社会を変えていくのではなく、人と付き合うことが苦手でも、能力が低くても、そうした社会をよくしていく仕事に少しでも関われるのだと、大きな夢を描けることが嬉しいです。

ちゃんと伝えると、ちゃんと対処してくれる



自分の障がいをオープンにして働いていることもとても大切です。体調が悪ければ「休ませてください」、苦手なことは「こういう理由があって苦手なんです」とその時々にはちゃんと伝えると、その都度対処がされます。

そうして問題があっても解決していくことができる。それがとてもありがたいと感じています。

自分にあった滑走路があれば



私たちには、長い滑走路がいります。
働くための準備期間が少し長く必要
なのです。それでも、滑走路を長く
取ってもらえれば、一人ひとりあつ
た滑走路があれば、しっかりと飛び
立つことができるのです。

自尊心を持つことができた喜び



仕事自体は誰にでもできるものかもしれないけれど、それでも休めば現場の人は困るし、仕事も滞ります。

社会的責任と居場所があって役割があるのだということが実感として湧いてきて、そこから自尊心というものがちゃんと持てるようになりました。それが得たものとして一番大きいと今は思っています。